

令和8年度全国学力・学習状況調査 豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

令和8年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が示されました。この結果を基に、教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、次のとおり分析結果をまとめました。

問合せ先

豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所
☎ 579・5801

豊頃町の子どもの学力等の傾向

<小学校>

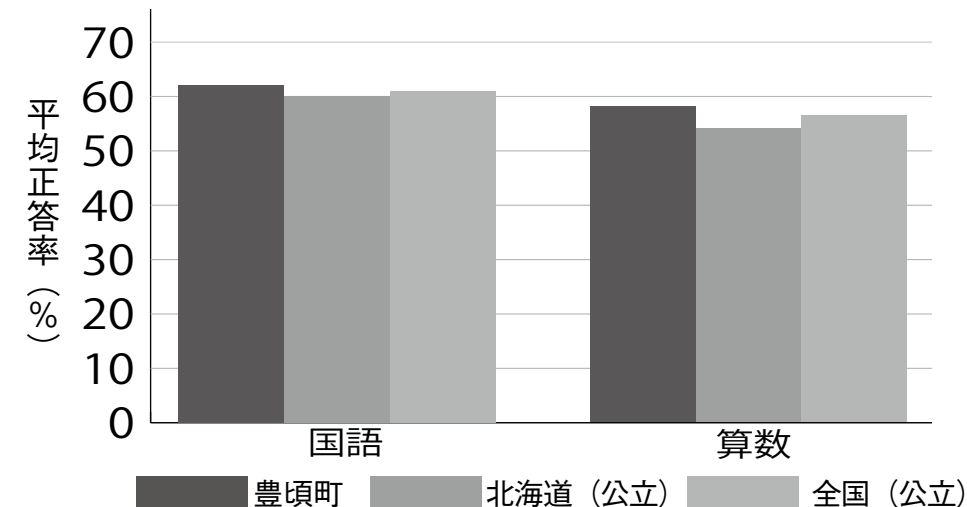
小学校の平均正答率は、国語・算数のいずれも全国・全道の平均を上回る結果となりました。

特に成果が見られたのは、自分の考えや理由を文章で書き表す記述式の問題です。国語・算数とも全国・全道の平均を大きく上回り、算数では記述式の問題すべてで全国平均を超えました。

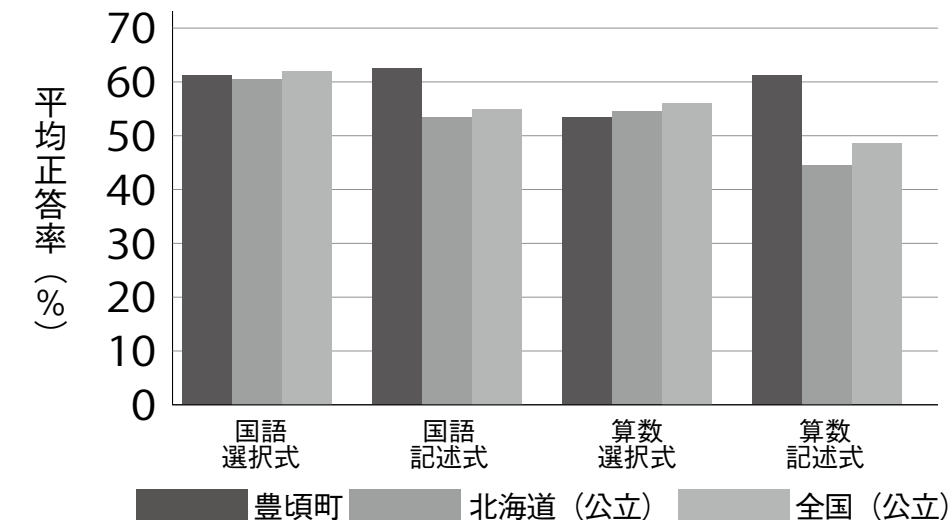
国語では「知識・技能」が全国平均を大きく上回り、基礎的・基本的な内容がおおむね定着していることがうかがえます。一方「思考・判断・表現」は全国平均を下回りましたが、正答率が低かったのはいずれも選択肢から選ぶ形式の問題でした。書く力には成果が見られる一方で、文章や資料を読み取り、その意図や効果を踏まえて判断する力にはさらに伸長が期待されます。

算数では「思考・判断・表現」が全国・全道平均を大きく上回りました。一方で、「知識・技能」は全国平均をわずかに下回っており、割合や概数、小数の計算については継続した指導の充実が必要と考えられます。

令和8年度全国学力・学習状況調査（小学校）



問題形式別の平均正答率（小学校）



豊頃町の子どもの学力等の傾向

<中学校>

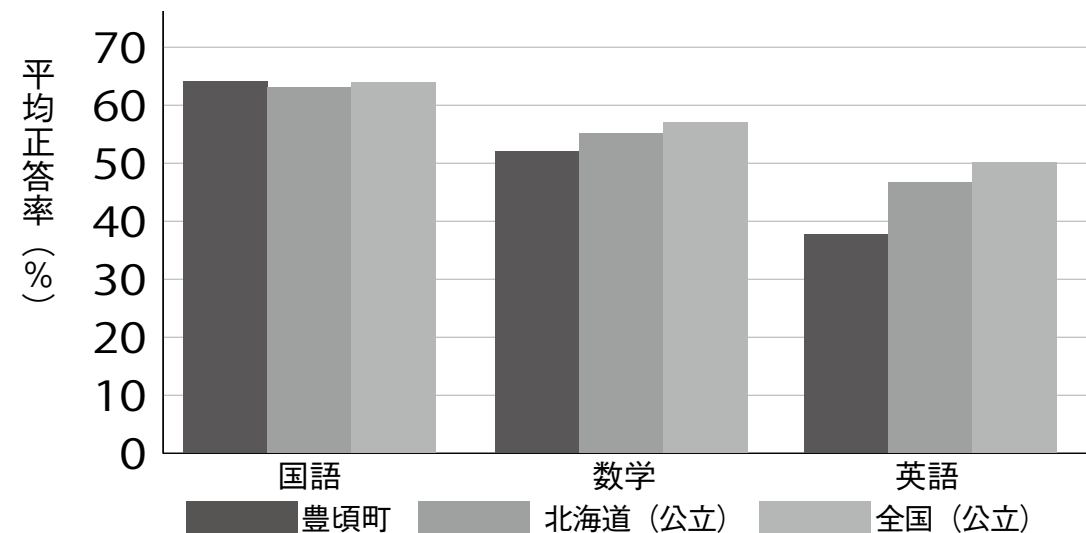
中学校の平均正答率は、国語が全国・全道平均を上回り、数学・英語では全国平均を下回る結果となりました。

国語では「話すこと・聞くこと」や「思考・判断・表現」が全国平均を上回り、特に表現の工夫や文法の理解において優れた成果が見られました。また、記述式問題においても最後まで諦めずに解答しようとする姿勢がうかがえます。一方、「知識・技能」や語句の文脈上の意味を捉える力に課題が見られました。

数学では「数と式」の領域や数学的な論理説明・理由付けの問題で全国平均を上回る強みが見られた一方、「図形」領域や累積度数などの統計概念に明らかな課題が残りました。

英語では、置かれた状況に応じた情報の聞き取りや読み取りで高い成果が見られたものの、全体の概要・要点の把握や、社会的な話題に対して自分の考えと理由を書く問題に課題が見られました。

令和8年度全国学力・学習状況調査（中学校）



問題形式別の平均正答率（中学校）

